ひきじだい

令和5 (2023) 年6月26日 文月 (7月) 号 《引地台小学校



創立40周年記念日に寄せて 成長の振り返りとしての学習評価

校長 箱崎 勝美

梅雨の晴れ間、プールから子どもたちの歓声が聞こえます。今年は、4年ぶりの水泳 指導が行われています。先日、6月20日(火)プール開きが行われる朝、私はプールに行 き、皆さんが無事に、そして、楽しく過ごせるようにお祈りをしました。水泳は全身運動で、健 康な体づくりにとっても、良い運動だと言われています。しかし、ちょっとした不注意で思わぬ

事故につながったり、危険もあります。そこで、「児童の皆さんは次の3つの「あ」を守って、事故がない楽しい水泳の時間を過ごしてください。」とお話をしました。3つの「あ」とは、「あせらない。」「あわてない。」「あなどらない。」です。学校としましても、楽しい水泳学習ができるように健康状態を常に把握しながら、指導して行きたいと思いますので、保護者の皆様も体調管理ならびに「水泳連絡カード」の提出の方よろしくお願いいたします。

さて、6月20日に引地台小学校は、創立40周年を迎えました。引地台小学校は、大和市内で一番新しい公立小学校です。創立記念日によせて、学校のシンボルの木「コブシ」について調べました。コブシの花びらが校章のデザインに取り入れられたのが、昭和60年1月21日でした。校章を公募

した時に校章の図案を作る参考資料に「校舎前広場にコブシの木が植樹されて『現在のコブシの木』 いるが、昔から引地川流域に自生したことに由来する」と書かれています。

応募のあった校章の図案には、コブシの花を図案化したデザインが多くありました。他には、 富士山や山桜、台地などのデザインがあり、その中から校章制定委員会がコブシのデザインの一 つを選びました。

学校のコブシの木は、この地域に自生していたものを、校舎建築の際、ピロティーに植樹したのが始まりです。現在のピロティーのコブシの木は、平成22年4月に植え替えを行い、3代目となっています。そんな小さかったコブシの木も成長して、きれいな花を咲かせています。

4月から3ケ月がたち、また、I学期も、いよいよあと半月となりました。7月はI学期の学びのまとめの月でもあります。各学級ではI学期間を振り返り、子どもたちが自分自身の成長とさらに努力すべき点についてしっかりと自覚できるように指導して参ります。

本校の通知表では、①「知識・技能」、②「思考・判断・表現」、③「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点で評価しています。詳しくは、各学年の「各教科の学習目標」をご覧ください。

学習のようすは、観点ごとに、「◎:十分に達している。」「〇:おおむね達している。」「△:努力を要する。」の3段階で評価しています。学校は平素の授業で、各授業のめあて(目標)に達していると認められる児童は「〇:おおむね達している。」と評価します。学習で身に付けた力をもとに、さらに広げたり、深めたりするなど、自ら学習を進める様子が見られた場合のみ「◎:十分に達している。」と評価します。5年生・6年生の外国語の評価もこのような評価となります。

また、 | 年生の | 学期についての評価は、「〇:おおむね達している。」「△:努力を要する。」の2段階で評価をします。

道徳の評価は、個々の児童の変容を継続的に把握して伝えるため、個人内評価で、数値による評価ではなく、記述式の評価となります。 | 年生では、道徳の

評価は2学期からといたします。その他、3年~4年の外国語活動、3年~6年生の総合的な学習の時間等の評価も、記述式の評価となります。

総合的な学習の時間は、学期をまたがって、課題について調べたり、 調べたことをまとめて発表することもあるので、 I 年間を通しての評価 を 3 学期に記述いたします。

子どもたちの成長のためにどのように励ましの声をかけていくのかが、学校でもご家庭でも大切な点だと思います。これからも、保護者の皆様と一緒に、子どもたちの可能性に期待して、一人ひとりの成長のために教育活動に励んでいきたいと思います。